

# 第1回「可視化ものづくり」シンポジウム ～接合プロセスを例として～

科学技術創造立国を標榜する我が国の、とりわけ自動車や航空機産業を筆頭とする各種産業群が集積する愛知県、中部圏において、近未来に向けて確実に進行する労働人口の減少に配慮しつつ、新興諸国の追随を許すことなく、これまでに培った「ものづくり」技術を発展させ、さらなる差別化を堅持するには、従来に無い革新的なものづくりの概念が必要と考えます。この難問に因應するために本シンポジウムでは、従来、個別に取り組みされてきた「可視化：科学」及び「ものづくり：技術」を科学技術として成立させる「可視化ものづくり」概念の必然性、有効性について各界有識者を交えながら検証します。また、当該概念の具現化に向けて、必須要素技術間および産官学の連携を基とする「可視化ものづくり拠点」構築を提案します。

日時：平成27年3月16日(月) 12:45～17:40

場所：ホテルアソシア豊橋 5階 ボールルーム

〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿(JR 豊橋駅直結), TEL: 0532-57-1010(代表), <http://www.associa.com/tyh/>

主催：豊橋技術科学大学 (機械工学系、人間・ロボット共生リサーチセンター、次世代シミュレーション技術者教育推進室)

協賛(予定)：中部経済産業局、愛知県、日本機械学会東海支部、日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部、溶接学会東海支部、日本溶射学会、塑性加工学会東海支部、鋳造工学会東海支部、可視化情報学会、自動車技術会中部支部、航空宇宙学会中部支部、豊橋信用金庫組合、東三河懇話会、精密工学会東海支部、計測自動制御学会中部支部

プログラム(すべて敬称略、講演タイトルは仮題)

11:45～12:45 受け付け & 会場後方にて展示会

12:45～12:46 開会挨拶 (司会 豊橋技術科学大学/安井利明)

12:47～12:54 主催者挨拶 (豊橋技術科学大学/大貝 彰)

12:55～13:03 来賓挨拶 (中部経済産業局産業技術課/岡本正弘)

13:04～13:14 シンポジウム趣旨説明 (豊橋技術科学大学/福本昌宏)

<産業界における課題、産業振興に向けた施策>

13:15～13:50 愛知県が取り組むものづくり産業の振興 (愛知県産業労働部/加納廣和)

<接合関連可視化研究の粋>

13:50～14:25 自動車部品の溶接における可視化活用事例 (トヨタ自動車/西尾匡弘)

14:25～15:10 各種接合現象の実験的可視化 (大阪大学接合科学研究所/片山聖二)

15:10～15:55 材料界面の原子・電子レベル解析と可視化 (産総研関西/香山正憲)

15:55～16:25 休憩 & 会場後方にて展示会

<「可視化ものづくり拠点」の提案>

16:25～16:40 産官学連携「可視化ものづくり拠点」の提案 (豊橋技術科学大学/福本昌宏)

<パネルディスカッション：可視化ものづくり・拠点構築に向けて>

16:40～17:35

司会：

豊橋技術科学大学 福本昌宏

パネラー：

中部経済産業局産業技術課課長 岡本正弘

愛知県産業労働部技監 加納廣和

大阪大学接合科学研究所長教授 片山聖二

産業技術総合研究所ユビキタスエネルギー研究部門首席研究員 香山正憲

豊橋技術科学大学学長特別補佐 原 邦彦

17:40

閉会挨拶

## 第1回「可視化ものづくり」シンポジウム 参加申込フォーム

参加ご希望の方は以下の必要事項をご記入の上、

2月28日(土)までに電子メールまたはFAXにて下記宛てにご連絡ください。

### 申込み先

#### ➤ FAXでのお申込み：0532-44-6690

(豊橋技術科学大学機械工学系事務室 気付 界面・表面創製研究室 加藤宛て)

#### <必要事項>

●お名前 (ご参加いただける方全員のお名前をご記入ください) ふりがな
●ご所属
●お電話番号
●E-mail アドレス

#### ➤ 電子メールでのお申し込み

上記内容をご記入の上

[isf-secretary@me.tut.ac.jp](mailto:isf-secretary@me.tut.ac.jp) 加藤宛て

#### <申し込みについて>

- ・定員 100 名 (先着順) とさせていただきます。
- ・参加費は無料です。
- ・当日、会場での参加申込みも可能ですが、席に余裕の無い場合にはご容赦ください。

#### <お問い合わせ先>

豊橋技術科学大学機械工学系 界面・表面創製研究室 加藤 (TEL:0532-44-6692)